

学校運営協議会(定時制部会)議事録

校名	府立佐野工科高等学校
准校長名	松野 良彦

開催日時	令和8年7月2日(金) 18:00 ~ 19:00
開催場所	府立佐野工科高等学校 定時制専用棟1階教室
出席者(委員)	山田 啓二 会長、山本 副会長 中村 新委員、横平 委員
出席者(学校)	松野准校長、川口教頭、茂原主席(生徒指導部長兼務)、池田教務部長 杉田 進路部長、濱田保健人権部長、咲花先生(広報・社会科)
傍聴者	
協議資料	令和8年度学校経営計画および分掌目標
備考	

議題等(次第順)

- (1)令和8年度 学校経営計画
- (2)各分掌の年間目標および具体策の説明(教務、生徒指導、進路、保健人権)
- (3)定時制教科書の選定および審議
- (4)体験的授業(竹細工工作)の見学(1限目の授業見学)
- (5)広報活動(企業コラボ・お菓子プロモーション等)の計画説明

協議内容・承認事項等(意見の概要)

質疑応答

- ・地元の中学生や保護者に自信を持って紹介・お勧めするために、基本的なシステムをいくつか教えてください。
 - ① 現在の定員や入試の難易度はどのようになっていますか？
 - ➡1学年の定員は40名ですが、近年は定員に達することがなかなかなく、全校生徒は現在43名となっている
 - ② 授業の時間帯は何時から何時までですか？
 - ➡夕方1限目から始まり、現在は夜の9時15分に終了するスケジュール
 - ③ 現在の生徒の皆さんは、やはり昼間に働きながら通っているのでしょうか？
 - ➡かつてのように「働きながら学ぶ」生徒は減っており、ほとんどは「アルバイト」をしているか、あるいは現時点では仕事をしていない状態が多い。
- ・韓国姉妹校交流の「予算と旅行会社を通さない工夫」について
 - ➡LCCなどの格安航空チケットやパスポートの取得を自力で行ってもらう方法、「自力でチケットを取り、自分で海外へ飛び立つ」を若いうちに身につけること自体が、彼らが大人になってからも海外に挑戦できる強固なサバイバルスキル＝体験的キャリア教育を目指す。
- ・韓国の提携校と日本の工業高校の設備格差について
 - ➡韓国では「私学」と「公立」の境界が非常に曖昧で、今回のような最新のコンピュータ設備や、eスポーツ・AI教育用の莫大な更替設備資金にも、多額の公的資金(国費・公費)が直接投入されています。
- ・チャレンジ科目での「子ども食堂」の自前立ち上げについて
 - ➡授業の中で本校の生徒自身をターゲットに料理を提供して運用テストを行い、ノウハウが蓄積されてうまく回るようになれば、将来的に地域の子どもたちや住民の方々を実際に招くという、2段階の広報・展開ステップを構想している

次回の会議日程

日時	
会場	